

「1000年、ともに」 ——マテリアルワークス、TOMOREA HD始動で共創を本格化

20周年を機に体制強化、ものづくりイノベーションで100億円を目指す

2025年8月8日(金)
マテリアルワークス株式会社



TOMOREA ホールディングス株式会社(TOMOREA HD)誕生 — マテリアルワークスが培った20年のモノづくり DNA を軸に、次の1000年を共創するグループ経営へ。

マテリアルワークス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:加藤勇治)は、創業20周年を機に持株会社「TOMOREA HD」を始動。ホールディングス体制のもと、2030年までにグループ売上100億円を目指す新成長戦略を始動します。新スローガン「1000年、ともに」のもと、国内外のパートナーと共創型イノベーションを加速させます。

背景と目的

マテリアルワークスは 2005 年、素材を扱う独立系化学商社として創業しました。世界を形づくり、社会課題を解決する MATERIAL が秘める無限の可能性に胸を打たれた創業者の原体験を礎に、単なる流通機能を超えた「あらゆる素材の専門家集団」を掲げ、事業の多角化と拡大を推進してきました。

この 20 年で当社は、熟練エンジニアの経験と若手の自由な発想が融合し、スタートアップや資源循環を志向する異業種含む多様な企業との協働を通じて、再生プラスチック製品や蓄電池など新領域の製品開発を実現。“共創”は今や当社の原動力です。

一方、事業領域の拡大に伴い、迅速な経営判断・投資配分、理念の社内外への浸透、そして志を同じくするパートナーのスピード感をもった体制整備が急務となっていました。

TOMOREA HD が掲げる 3 つの成長ドライバー

- ドライバー1:TOMOREA HD の始動
 - ・事業単位毎に分社化、機動的な経営と開発投資を実現
 - ・本社を東京丸の内に移転、共創を加速する体制構築・経営管理機能の一元集約

- ドライバー2:コーポレートスローガン・コミットメントの表明

コーポレートスローガン「1000年、ともに」

1000年、人々と”ともに”在る普遍的な価値を探究し、事業を創出し続けます

「1000年、ともに」の元、5つのコミットメントを表明します

01. 安全性を最優先とすること
02. 持続的に利用可能な資源を採用し作られたものであること
03. 地域社会に貢献する取り組みであること
04. 成長するプロジェクトであること
05. 美しいプロジェクトであること

- ドライバー3:2030 ビジネス・ターゲット
 - まずは 売上高100億円を早期に突破し、それを“通過点”にさらにギアを上げ、持続的に加速していきます。
 - 変動する社会・市場ニーズに対応し、サービスポートフォリオの拡張・戦略的事業提携を变幻自在に組み合わせ、提供価値と企業価値の双方を最大化します。

この 3 ドライバーにより TOMOREA HD は開発・実証・実装・事業連携を自在に統合し、共創エコシステムを拡張。マテリアルワークスが培ったモノづくり DNA を継承しながら、次の 20 年を切り拓きます。

代表取締役 加藤 勇治 コメント

20年前、素材が秘める無限の可能性と、それを扱う責任の重さに胸を震わせ、私は愚直にモノづくりと向き合う旅を始めました。国内を歩き回り、アフリカまで活動の場を広げる過程で、数え切れない可能性と課題に出会いました。そしてどんな環境でも、より良い世界に向けて前進したい、という人々の想いは共通であったと思います。

いま私たちはマテリアルのプロフェッショナルとして「より良い世界をつくる」という揺るぎない意志のもと、科学技術・IT・アートなど人間の叡智を結集し、千年先まで誇れる価値を創出する新たなステージへ踏み出します。TOMOREA HDは、その挑戦を支える共創のプラットフォームです。1000年という無茶と思われる時間軸で通用する事業に真剣に向き合い、時代を超えて愛される普遍的なものづくりに挑む旅へ、ぜひ私たちとともに。

マテリアルワークス株式会社 会社概要

設立 2005年8月9日

代表者 代表取締役 加藤 勇治

事業内容 素材ソリューション、蓄電池・リサイクル事業ほか

本リリースに関するお問い合わせ

マテリアルワークス 広報担当

E-mail:pr@material-works.co.jp